

ご存じですか？
あなたの街の病院がいま危機的状況なのを！！

地域医療はもう崩壊寸前です

1. 診療報酬は公定価格です。しかし物価・賃金の上昇に対応して診療報酬が上がっていません。
2. 結果、多くの病院は深刻な経営難に陥っています。
3. また、医療・介護に従事する数多くのスタッフの賃金を、他産業と同じように上げることが難しくなっています。
4. 物価・賃金の上昇に適切に対応した診療報酬の仕組みが必要なのです。

このままでは

ある日突然、病院がなくなります

口径150mm以上の県営水道の従量料金について 501m³以降の単価を変更した場合の試算

口径別の契約件数及び使用数（2024年度決算見込み）

口径	件数	水量（合計）	1件・1月あたりの水量
13mm	37,825件	35,695,670m³	78.64m³
20mm	1,107,345件	209,886,666m³	15.80m³
25mm	25,834件	9,341,470m³	30.13m³
40mm	6,542件	11,857,248m³	151.04m³
50mm	2,159件	9,253,378m³	357.16m³
75mm	925件	7,916,203m³	713.17m³
100mm	202件	4,713,594m³	1,944.55m³
150mm	74件	4,466,385m³	5,029.71m³
200mm	16件	1,935,326m³	10,079.82m³
250mm	1件	1,237,650m³	103,137.50m³
300mm	2件	3,040,032m³	126,668.00m³

現在の従量料金での試算（1か月・税抜き）					
		口径300mm試算	口径250mm試算	口径200mm試算	口径150mm試算
1件・1月あたりの水量		126,668.00m³	103,137.50m³	10,079.82m³	5,029.71m³
1～10m³	57円	570円	570円	570円	570円
11～20m³	150円	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円
21～40m³	244円	4,880円	4,880円	4,880円	4,880円
41～100m³	326円	19,560円	19,560円	19,560円	19,560円
101～500m³	404円	161,600円	161,600円	161,600円	161,600円
501m³～	441円	55,640,088円	45,263,138円	4,224,702円	1,997,602円
現状試算（A）		55,828,198円	45,451,248円	4,412,812円	2,185,712円

提案する従量料金での試算（1か月・税抜き）					
		口径300mm試算	口径250mm試算	口径200mm試算	口径150mm試算
1件・1月あたりの水量		126,668.00m³	103,137.50m³	10,079.82m³	5,029.71m³
1～10m³	57円	570円	570円	570円	570円
11～20m³	150円	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円
21～40m³	244円	4,880円	4,880円	4,880円	4,880円
41～100m³	326円	19,560円	19,560円	19,560円	19,560円
101～500m³	404円	161,600円	161,600円	161,600円	161,600円
501～1000m³	441円	220,500円	220,500円	220,500円	220,500円
1001～2000m³	500円	500,000円	500,000円	500,000円	500,000円
2001～3000m³	600円	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円
3001～5000m³	700円	1,400,000円	1,400,000円	1,400,000円	1,400,000円
5001～7000m³	800円	1,600,000円	1,600,000円	1,600,000円	23,768円
7001m³～	900円	107,701,200円	86,523,750円	2,771,841円	
提案試算（B）		112,209,810円	91,032,360円	7,280,451円	2,932,378円
現状試算と提案試算の差		56,381,612円	45,581,113円	2,867,639円	746,666円

★12か月分の試算差 （B-A）×12か月	676,579,344円	546,973,350円	34,411,665円	8,959,991円	
各口径の契約数	2件	1件	16件	74件	年間試算差の合計
差額合計（★×契約数）	1,353,158,688円	546,973,350円	550,586,634円	663,039,310円	3,113,757,982円

(3) 概略ルート・構造案



※現時点で想定している標準的な横断面図示すものであり、今後、詳細に検討します。

(4) 複数案と評価項目(案)

評価項目(案)			案1 バイパス整備案		案2 現道対策+一部バイパス整備案
			案1-1高架構造を主体とする道路	案1-2地下構造を主体とする道路 ※地下構造は陸上部が連続する区間を想定 ※その他の区間については、高架構造を想定	
比較ルートの考え方			・新設道路を沿線市の市街地や自然環境(三番瀬や谷津干潟)を避けつつ、千葉港や京葉臨海工業地帯へのアクセス性を重視して最短で結ぶルート案		・国道357号や国道16号等を拡幅し、一部新設道路を整備する案
達成すべき目標(案)	交通 渋滞	幹線道路の 渋滞緩和	・千葉港や物流拠点等を起終点としている交通や千葉県湾岸地域を通過する交通が幹線道路(現道)から分離することで渋滞が緩和し、速達性が期待できる ・主要渋滞箇所を回避することができるため、速達性の向上が期待できる		・交通容量は増えるが、平面交差数は変わらず、バイパス整備と比較して効果は小さく、速達性が期待できない
	交通 事故	交通事故の減少	・千葉港や物流拠点等を起終点としている交通や千葉県湾岸地域を通過する交通が幹線道路(現道)から分離することで渋滞が緩和され、渋滞起因の事故の減少が期待できる ・事故危険箇所を回避することができる		・湾岸地域の主な幹線道路の交通事故の減少が期待できるが、バイパス整備と比較して効果は小さい
		事故発生時の 迂回機能	・事故等による高速道路の通行止め発生時に高規格道路の迂回路として機能する		・事故等による高速道路の通行止め発生時に高規格道路の迂回路として機能しない
	医療	救急医療施設への 速達性の向上	・アクセスコントロールがされた自専道を走行することで、交差点での速度低下がなくなり、救急医療施設への速達性が向上する		・平面交差数は変わらないため、救急医療施設への速達性が期待できない
	防災	災害発生時の リダンダンシー	・浸水想定高よりも高い位置(5m以上)での整備を行うため、津波・高潮等の影響を受けにくく、代替路として機能する	・浸水想定高よりも低い位置での整備となるため、津波・高潮時に浸水するリスクがあり、代替路として機能しない	・浸水想定高よりも低い位置での整備となるため津波・高潮時に浸水するリスクがあり、代替路として機能しない
			・千葉港(葛南中央地区)へのICの整備により、連絡路が確保され、孤立化のリスクが低減(アクセス路:1か所→2か所)		・千葉港(葛南中央地区)の孤立化のリスクが改善されない
	物流・ 産業	災害発生時の 防災機能	・浸水想定高よりも高い位置(5m以上)での整備を行うため、津波・高潮時からの避難場所として機能する	・浸水想定高よりも低い位置での整備となるため、津波・高潮等からの避難場所として機能しない	・浸水想定高よりも低い位置での整備となるため、津波・高潮等からの避難場所として機能しない
		物流拠点への アクセス性向上	・物流拠点への高速ICからのアクセス性が向上する	・トンネルの整備はないため、危険物積載車両制限なし	・トンネルの整備がないため、危険物積載車両制限なし
	港湾・ 空港 アクセ ス性	観光施設への アクセス性向上	・高速ICが整備されることで、湾岸地域の観光施設へのアクセス性が向上する		・バイパス整備案と比較して効果は小さい
		千葉港への アクセス性向上	・千葉港(千葉中央地区)へのIC整備により、千葉港への速達性の向上やルートの選択肢が増える		・バイパス整備案と比較して効果は小さい
配慮すべきこと(案)	生活 環境	羽田・成田空港への アクセス性向上	・新たに道路ネットワークを形成することで、都心や羽田空港と成田空港方面への速達性の向上やルートの選択肢が増える		・バイパス整備案と比較して効果は小さい
		生活道路へ 流入交通の減少	・新たな道路ネットワークを形成することで通過交通を幹線道路(現道)から分離し、適切な交通分担を図ることにより生活道路へ流入する通過交通の減少が期待できる		・生活道路へ流入する通過交通の減少が期待できるが、バイパス整備と比較して効果は小さい
	自然 環境	三番瀬や谷津干潟	・三番瀬や谷津干潟を避けるため、自然環境への影響は小さい		・谷津干潟への影響を避ける検討が必要
		渡り鳥の飛来経路	・渡航路部の長大橋が渡り鳥の飛来経路に与える影響を検討する必要がある		・影響はない
	景観	海辺の眺望景観	・眺望や景観に影響を与える可能性がある	・高架構造以外の区間は眺望や景観への影響は避けられる	・影響はない
	居住 環境	沿道環境 (騒音・大気質など)	・千葉港や物流拠点等を起終点としている交通や市原市方面へ向かう通過交通が幹線道路(現道)から分離することで渋滞が緩和し、幹線道路の混雑緩和により、現道の沿道環境の改善が見込まれる	・新設道路沿線の環境対策が必要となる可能性は低い	・沿線の環境対策が必要となる可能性がある
		自然とのつながり	・千葉港(葛南中央地区)へのICの整備により、自然と触れ合い活動の場となる三番瀬への利便性が向上する ・自然と触れ合い活動の場となる海浜公園などの海辺へのアクセスは変わらない		・三番瀬への利便性は向上しない ・海浜公園などの海辺へのアクセスは変わらない
	経済性	事業費	約1兆円 ※注1、注2	約2兆円 ※注1、注2	約0.5兆円 ※注1、注2

注1)事業費は精査中。注2)当該事業費は、近年の物価高騰を踏まえた増額リスクを考慮した補正を行っていない。注3)付加機能(自動物流、自転車ハイウェイ)は、事業化後に検討
注4)新たな道路を整備しない案は、複数案の設定において、比較評価のベースラインとして提示(P34)



地図データ ©2025 500 m

東葉高速鉄道純利益（年度ごと）

億円

40

35

30

25

20

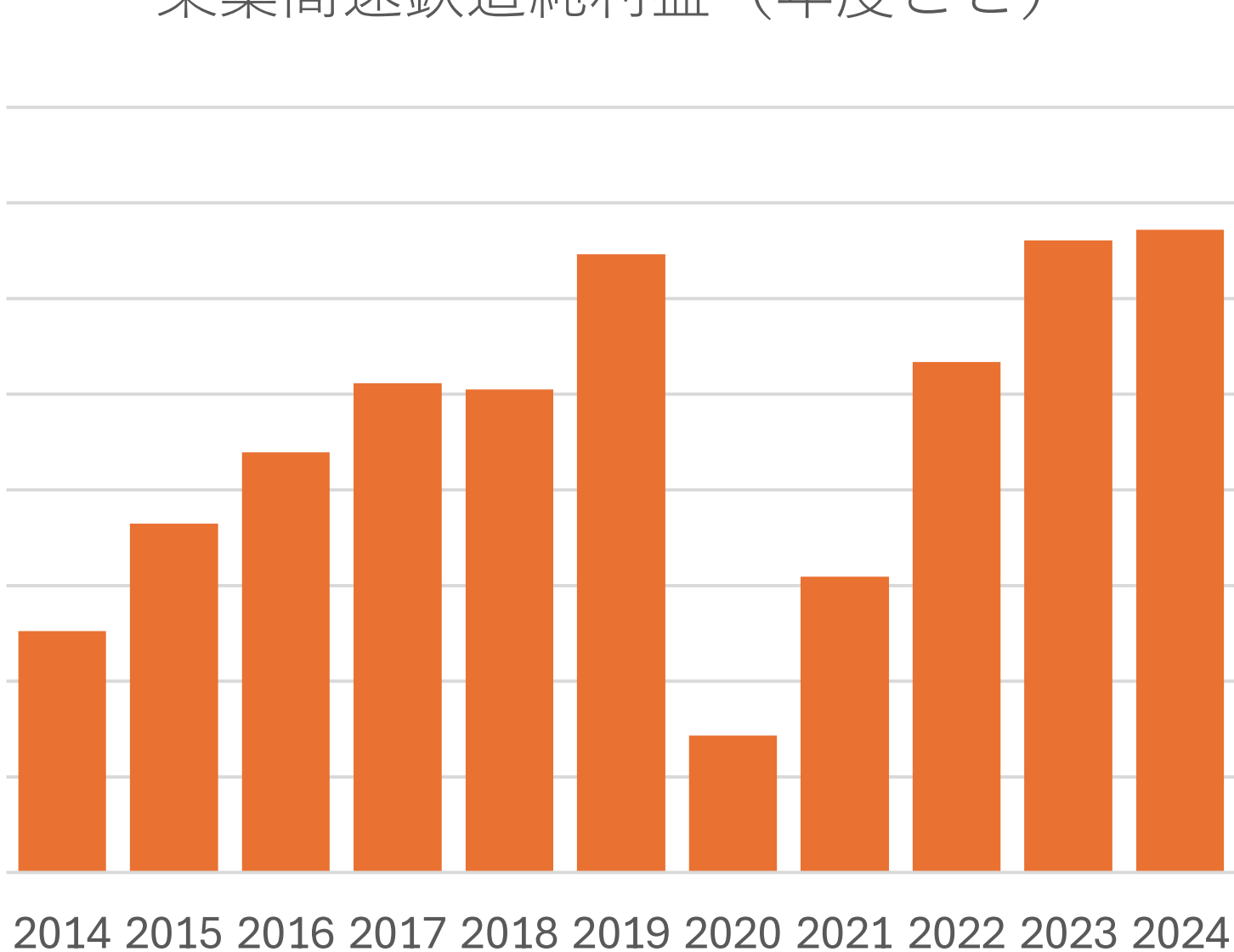
15

10

5

0

2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024



自衛隊千葉地方協力本部船橋出張所 三つの御提案

その2 職場体験学習

<自衛隊の駐屯地及び基地での実体験>

陸、海、空自衛隊には、民間での仕事が殆どが網羅・・・約60以上のお仕事

県立古和釜高等学校



消防服試着体験



体験喫食



土のう作り体験



消防車放水体験



フライトシュミュレーター体験搭乗



航空機整備体験（リベット打ち）